

TRUST SUPER TUNING SYSTEM AIMING AT REAL COMPETITIONS.

*Greddy*

**Rebic LC**

## 取扱説明書

— For NISSAN —

LC is multi functioned fuel controller.

LC functions as "Fuel increase" for high boost with T.V.V.C.

LC functions as "Boost cut" cancel, "Speed cut" and "Rev. limiter" cancel.

LC is possible to make fuel control according as any tuning situation or any Intake-Exhaust efficiency to the normal turbo charged machine.

**TRUST**

# Rebic LC 取扱説明書

— For NISSAN —

Rebic LCは、ノーマルインジェクターの噴射量を最大限引き出し、ブーストカット、スピードリミッター、レブリミッター等を解除するフルインジェクターシステムです。空気流量及びRPM制御も行なっていますので、ハーフスロットルや全開走行でも不快感なく走行出来ます。

注意：Rebic LCは、エンジン別、コンピューター別専用タイプになっています。取付けの際は、必ず適合車種を守って下さい。適合車種以外に取付けますと電圧、信号系統の違いから電流投入時、すぐにコンピューター破損につながりますので絶対に適合車種を守って下さい。

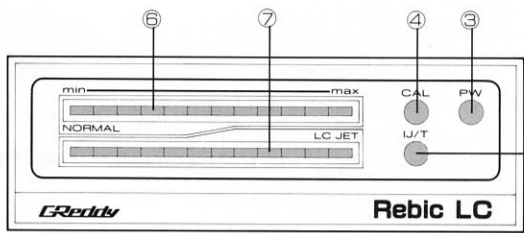
## パーツリスト

- |              |    |             |    |
|--------------|----|-------------|----|
| 1. LCインジェクター | 1個 | 3. コネクターセット | 1個 |
| 2. LCメインアンプ  | 1個 | 4. 本体取付金具   | 2個 |

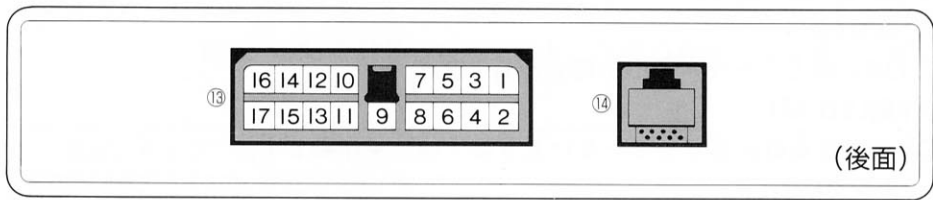
## 取付前後のチェック

1. コネクターの差し込み不良に注意して下さい。
2. あらかじめブーストカット、スピードリミッターカットコントローラーを取付けてある場合は、LCのコネクターとノーマルコンピューターの間に取付けて下さい。  
(取外してもかまいません)
3. チェックランプの確認。  
ダイアグノーシスのチェック点検。コードを読み取りチェックして下さい。  
(整備書を参照して下さい)
4. イグニッションOFF後、LCのPW LEDが3秒前後点灯しますが異常ではありません。
5. LCメインアンプは、温度が低くノイズが出にくい所に取付けて下さい。  
(点火系の近くは避けて下さい)
6. ノーマルコンピューターの位置は、助手席側サイドカウル内です。
7. ガソリンは、必ずハイオクガソリンを使用して下さい。

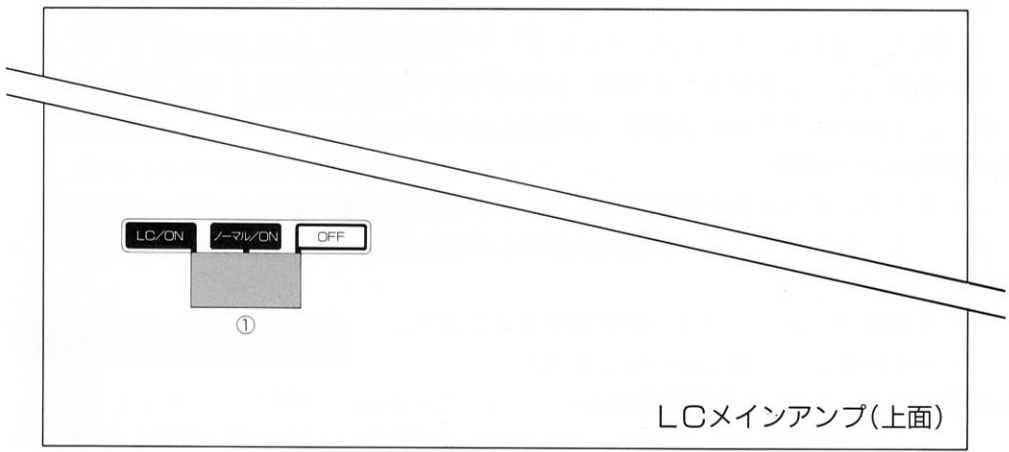
# Rebic LC 各部名称及び操作



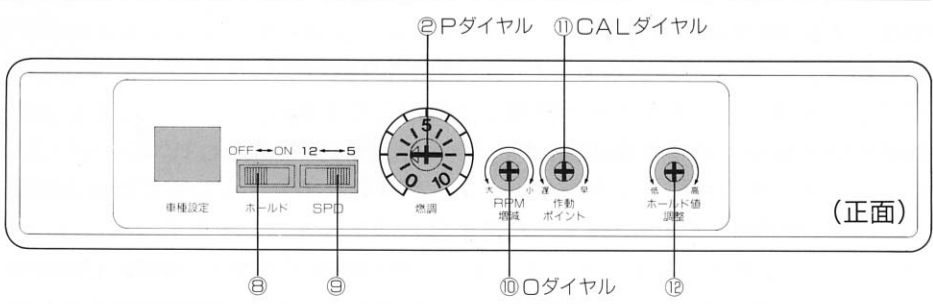
LCインジケーター(正面)



(後面)



LCメインアンプ(上面)



(正面)

## Rebic LC 各部名称及び操作

### ①PW S/W

LC/ON—————Rebic LCが作動します。

ノーマル/ON——ノーマルコンピューターのみ作動します。この時、PW LEDとタイミングLEDは点灯していますが作動はしません。

OFF—————ノーマルコンピューターもRebic LCも全て作動しません。  
(車輛盗難防止装置にも使用出来ます。)

### ②燃料調整ダイヤル(Pダイヤル)

ダイヤル0側が最も薄く、ダイヤル10側に回すほど濃くなります。  
(約-30%~約+30%)

### ③PW LED(赤)

LC/ONの時とノーマル/ONの時に点灯します。

### ④LC作動LED(緑)

LC作動時に点灯。点灯していないときはノーマル作動です。

### ⑤タイミングLED(黄)

ノーマルコンピューターとLCが適合している場合に点灯・点滅します。点灯・点滅しないときは、LCの適合が違いますので直ちにLCを取外して下さい。  
(適合しているLCでも、E/G、コンピューター等の仕様により1,500rpm以下で点灯・点滅しないときがありますが、回転を上げて点灯・点滅する場合は正常です。但し、インジェクターが全開時には消灯します。)

### ⑥NORMALバーLED

ノーマルコンピューター作動時のインジェクター噴射量を表示します。ブーストカット又、レブリミッター作動時は消灯します。

### ⑦LCバーLED

LC作動時のインジェクター噴射量を表示します。  
(100%噴射時は、12個全部点灯します。)

### ⑧流量ホールドS/W(出荷時調整済み)

ノーマル燃調が濃すぎる場合や、ノーマルと違う燃調にしたい時に使用します。

### ⑨SPDセットS/W(出荷時調整済み)

### ⑩高回転燃調ダイヤル(Oダイヤル、出荷時調整済み)

使用するときには、②のダイヤルと併用して使用して下さい。

### ⑪作動ポイントセットダイヤル(CALダイヤル、出荷時調整済み)

E/Gチューニングの仕様により作動ポイントが変化してしまった時にセット変更して下さい。右側が早めのセット、左側が遅めのセットになります。

(作動ポイントをあまり早めにセットしますと低回転域でカブリ、高回転で吹け始めるといった状態になり、逆に作動ポイントが遅すぎるとLCが作動する前にブ

ーストカットが出てしまいます。)

⑫流量ホールドダイヤル(出荷時調整済み)

ノーマルコンピューターのインジェクター出力信号を使用したくないとき調整しますが、間違った調整をしますとE/G破損につながりますので注意して下さい。

⑬取付ハーネス接続コネクタ

⑭インジェクター接続コネクタ

●Pダイヤル・Oダイヤル セット方法(出荷時調整済み)

Pダイヤル……PW S/WをLC/ONにして、取付ハーネス接続コネクタ⑬の8番(アース)と16番の電圧を計り、下表の数値になる様にPダイヤルで調整して下さい。

Oダイヤル……PW S/WをLC/ONにして、取付ハーネス接続コネクタ⑬の8番(アース)と17番の電圧を計り、下表の数値になる様にOダイヤルで調整して下さい。

| E/G タイプ        | 区 別 方 法       | Pダイヤル | Oダイヤル |
|----------------|---------------|-------|-------|
| RB20DET(～62.8) | アルミエアフロー      | 1.3   | 2.5   |
| RB20DET(62.8～) | プラスチックエアフロー   | 1.85  | 2.5   |
| VG20DET        | コネクタ旧型(黒)     | 1.7   | 1.76  |
| VG20DET        | コネクタ新型(青、一体型) | 1.85  | 1.98  |

※表の数値は、ノーマルエンジンの基準値です。Pダイヤル・Oダイヤル共、出荷時には基準値にセットされていますが、エンジンの仕様などにより両ダイヤルでセッティングを変更した場合などノーマルの基準値が判らなくなったりした時に上表の数値に調整すればノーマルのセッティングになります。

## Rebic LC 取付方法

- 1.LCメインアンプのPW/SWがOFFになっているか確認して下さい。LC/ON又は、ノーマル/ONになっている場合は、必ずOFFにしてから取付けて下さい。
- 2.ノーマルコンピューターからハーネスを外して、LCのハーネスをノーマルコンピューターのコネクタに接続し、LCハーネスにノーマルハーネスのカプラーを接続します。
- 3.LCハーネスの白いカプラーを、LCメインアンプの取付ハーネス接続コネクタに接続します。
- 4.LCインジェクターのカプラーを、LCメインアンプのコントロール接続コネクタに接続します。
- 5.以上で取付けは終了です。

## 基本セット

[流量ホールドS/Wは、OFFの状態ですべてセットして下さい。]

1. PW S/WをLC/ONにして、PW LED③とタイミングLED⑤が点灯していることを確認して下さい。(高回転にしてもタイミングLEDが点灯しないときは、LCが適合しませんので車輛にあったLCを取付けて下さい。)
2. LCの作動ポイントは、入力されている設定値により自動的に作動します。  
(チューニング等の仕様により作動ポイントが、ずれる場合があります。これは、調整が必要です。)
3. 走行テストをして下さい。まず、ノーマルバーLED⑥が点灯します。これはノーマルコンピューターの噴射量を表示し、LCが作動すると、LC作動LED④、LCバーLED⑦が点灯します。⑥、⑦が同じ噴射量になるよう燃調ダイヤル②で調整して下さい。LC側が少ない場合は10の方向、LC側が多い場合には0の方向にダイヤルを回して下さい。  
(セッティング中に、ブーストカットやレブリミッターが作動した場合は、ノーマルバーLED⑥は消えますが、LCバーLED⑦が点灯していますので問題ありません。インジェクター全開時は、タイミングLED⑤も消灯します。)

## セッティング

[チューニングの仕様によりノーマルコンピューターでは燃調が合わず、吹け上がりの良くない場合も有ります。その場合、LCの流量ホールド機能を使用することによりLC作動時のみノーマルコンピューターをカットして、LCだけで燃調を調整することが出来ます。]

1. 流量ホールド機能を使用する場合(ノーマルと違う燃調にしたい時使用)  
※ホールドS/Wを使用する場合には必ず、燃料調整ダイヤル②で基本セットを行なってからにして下さい。
2. 流量ホールドS/W⑧をONにするとノーマルバーLED⑥が全開時でも8~10個くらいしか点灯しません。これは流量ホールドしているために、ノーマルコンピューターの計算が止まっているからです。
3. 調整方法は、燃料調整ダイヤル②でノーマル量の約-30%~+30%の調整が可能です。LCバーLED⑦の表示を目安に馬力に対する噴射量を計算しながら行なって下さい。
4. Oダイヤルは、高回転側での燃料調整ダイヤルです。大側に回すと濃くなり、小側に回すと薄くなります。

## 《計算式》

(メインインジェクター量cc × 気筒数) ÷ 12 × LCバーLED点灯数 = 毎分のLC噴射量

$$\frac{\text{毎分のLC噴射量} \times \text{ガソリン比重} 0.71 \sim 0.73 \times 60}{\text{消費率} 270 \sim 300 \text{g/psh}} = \text{PS(馬力)}$$

### ※注意

- 流量ホールドS/Wを使用しても、空気流量が多いときは燃料調整出来ませんが、LCが作動する前の空気流量が少ないときは絞る事が出来ませんので注意して下さい。
- 日産系のエアフロー(熱線式)は、エアフロー前のダクトやエアクリーナー等を加工すると流量信号が変化しますので、なるべくノーマルを使用して下さい。(加工したエアフローやエアフローの取付け位置を変更すると、LCが作動する前のノーマル作動時にカブルことがあります。)
- チューニングの仕様によっては、加速状態からアクセルをオフにしたときにエンジンが止まってしまうことが有ります。この現象は、ブローオフバルブを取付けることにより解消されます。
- ハイブーストで走行する時や、チューニングの仕様によってはLCバーLED⑦が全点灯していない状態でも、追加インジェクターで燃料を増量しなければエンジン破損につながりますので注意して下さい。

### ● 適合車種

|                |  |
|----------------|--|
| RB20DET CPU I  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイラインGTS(HR31)      ~87.8</li> <li>・フェアレディZ(PZ31,PGZ31)      ~87.8</li> </ul>         |
| RB20DET CPU II | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイラインGTS(HR31)      87.8~89.5</li> <li>・フェアレディZ(PZ31,PGZ31)      87.8~89.7</li> </ul> |
| VG20DET CPU I  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セドリック、グロリア(Y31)      ~89.6</li> </ul>  |
| VG20DET CPU II | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セドリック、グロリア(Y31)      89.6~</li> </ul>  |
|                |  |
|                |  |
|                |  |
|                |  |

